

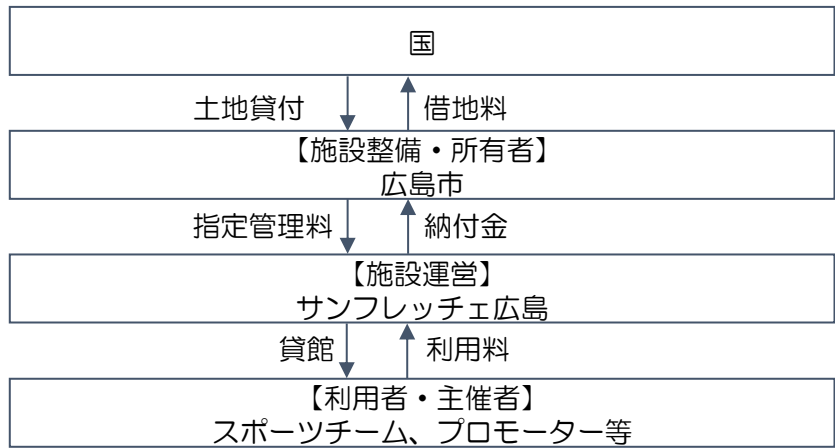
- 公設・指定管理と企業・個人寄附等を組み合わせて公的負担を軽減し、ホスピタリティ機能による収益向上と、都心公園・周辺施設との回遊による地域のにぎわい創出を目指すまちなかスタジアム。

スタジアムデザイン



事業スキーム

- 公共が多様な財源により施設を整備・所有し、民間事業者が利用料金や自主事業収入を活用して管理・運営する指定管理事業。



基本情報

所在地	広島県広島市中区基町15番2-1
開場年	2024年（令和6年2月開業）
収容人数	28,520人
ホームチーム	サンフレッチェ広島（Jリーグ）、サンフレッチェ広島レジーナ（WEリーグ）
所有者	建物：広島市／土地：国
運営者	（株）サンフレッチェ広島（指定管理者）
建設費	約285億7,000万円
アクセス	広島電鉄「紙屋町西電停」から徒歩約10分 アストラムライン「県庁前駅」から徒歩約10分 JR「新白島駅」から徒歩約15分
事業スキーム	設計・建設はDB方式で公共主体で実施。 管理運営については、指定管理者制度を活用
資金調達方法	社資交：約101億円／企業等からの寄附：約70億円／個人からの寄付：約6億円／市負担：約40億円／県負担：約40億円／市債：約27億円 等

スタジアムの特色

ホスピタリティ機能による収益向上	• VVIP室、VIPラウンジ、バルコニー席を持つスカイボックスやビジネスラウンジなどのホスピタリティエリアの充実やセンサリールームや吹抜空間を有効活用したキッズルームを常設。
周辺もあわせた開発や近隣施設との回遊性による効果	• 隣接する広場エリア(約2.4ha)のにぎわい施設等を整備し、スタジアムとの複合化を図ることで、幅広い世代が日常的に集い楽しめる空間を形成。 • ペDESTリアンデッキ(2か所)、スタジアムと広場を繋ぐコンコース整備により、平和記念公園、広島城等の周辺エリアに至る動線を確保し、新たな回遊性や集客性、にぎわいを生み出す、開かれた「街なかスタジアム」を実現。

出典： スポーツ庁 多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナHP、ひろしまスタジアムパーク公式サイト

スタジアム事例（国内）②長崎スタジアムシティ

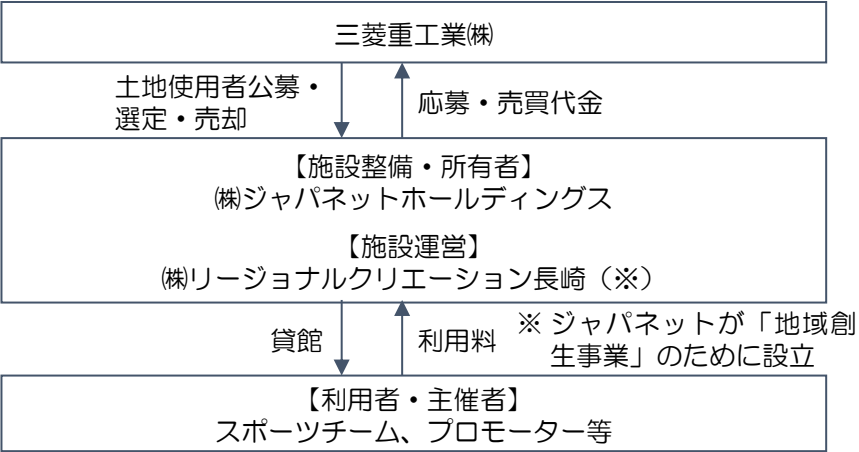
- 民設民営により、スタジアム・アリーナ・ホテル・商業・オフィスを一体的に所有・運営。
- ホームクラブ、施設運営、コンテンツ企画をグループ内で連携させ、スポーツ興行に加えて宿泊、賃貸、飲食・物販、広告へ収益源を複線化し、365日の集客・消費を収益につなげる複合開発型スタジアム。

スタジアムデザイン



事業スキーム

- 民間事業者による独立採算事業（自ら資金調達して施設を整備し、施設の賃借料で回収）



基本情報

所在地	長崎県長崎市幸町7-1
開場年	2024年（2024年9月6日竣工、2024年10月14日開業）
収容人数	約20,000人
ホームチーム	V・ファーレン長崎（サッカーJ1リーグ）
所有者	（株）ジャパネットホールディングス
運営者	（株）リージョナルクリエーション長崎
建設費	約1,000億円（全体）
アクセス	JR長崎駅から徒歩約10分／JR浦上駅から徒歩約8分／長崎電気軌道「スタジアムシティノース」停留場から徒歩約3分
事業スキーム	ジャパネットホールディングスグループ主導の民設民営
資金調達方式	デジタル田園都市国家構想交付金、物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金、社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集中支援事業交付金合計：22億5,186万円／長崎県市街地再開発事業等補助金：8億5,433万円／企業版ふるさと納税：6億857万円／長崎市一般財源8.16億円／残額は民間主体による資金調達（詳細内訳無し）

スタジアムの特色

365日の滞在・消費を生み出す複合型にぎわい拠点

- アリーナ・ホテル・商業・オフィスを一体整備した民間主導の大型複合施設。
- 試合日以外も多目的に利用され、中心市街地へにぎわいを波及。

ホテル客室

オフィス入口

併設商業施設

出典：長崎スタジアムシティHP、長崎市

スタジアム事例（海外）③ヨハン・クライフ・アレナ（蘭）

- 試合・コンサート等の興行収入に加え、VIP・ラウンジ等の高付加価値サービス、非興行日の施設貸出し、飲食・物販、スタジアムの設計・運営ノウハウを活用したコンサルティング等に収益源を多角化し、持続的な施設運営を支えているスタジアム。

スタジアムデザイン



スタジアム内



複合機能



基本情報

所在地	オランダ・アムステルダム
開場年	1996年
収容人数	56,120人
ホームチーム	AFC Ajax
所有者	スタディオンアムステルダムNV
運営者	スタディオンアムステルダムCV
建設費	1 億 2,700 万ユーロ
アクセス	アムステルダム駅から電車で15分、下車後徒歩3分
事業スキーム	市と民間事業者により設立した会社により整備及び運営されている。官民連携型パートナーシップ（行政と民間が共同出資したスタディオンアムステルダムNVが施設所有権を有する）
資金調達方法	公的資金：38百万ユーロ（アムステルダム市：87%、政府：13%） 民間資金：89百万ユーロ（Ajax：10%、その他複数民間企業90%）

スタジアムの特色

多様な収入源の確保

- AFC Ajaxやオランダ代表の試合、コンサート等のチケット収入などの興行収入単体で黒字化している。
- その他に、スタジアム建設/運営等に関わるノウハウのコンサルサービス、イノベーションハブとしての機能等が主な収入源。

収益源を多様化する取り組み

- 非興行日は、VIP用のバーやレストラン、ラウンジを会議やセミナー、パーティー等イベント向けに貸出しを行う。
- スタジアム設計時からコンサートの実施が想定された搬入経路等の動線も設計されている。

出典：ヨハン・クライフ・アレナHP、スポーツ庁 海外スタジアム・アリーナ事例集

スタジアム事例（海外）④SoFiスタジアム（米）

- 民設民営・民間資金を基盤に、スタジアム、劇場、商業、オフィス、住宅、ホテルを街区一体で整備し、年間250件超のイベントと日常的な居住・就業・消費により、施設稼働と地域価値を高める複合開発型スタジアム。

スタジアムデザイン



ホテルイメージ図



商業施設イメージ図



併設オフィス



基本情報

所在地	アメリカ・カリフォルニア州（1001 S. Stadium Drive, Inglewood, CA 90301）
開場年	2020年
収容人数	固定席70,000席（最大100,000席まで収容可能）
ホームチーム	Los Angeles Rams（NFL）、Los Angeles Chargers（NFL）
所有者	StadCo LA, LLC（民間）
運営者	Hollywood Park Management Company, LLC（民間）
建設費	約50億ドル
アクセス	ロサンゼルス中心部より約15km（NFL開催日はMetro C線・K線「LAX/Metro Transit Center駅」より、スタジアム行きシャトルバスを運行）
事業スキーム	Los Angeles Rams主導の民設民営
資金調達方式	借入：22.5億米ドル+5億ドル/自己資金（総額不明）

スタジアムの特色

街と一体と
なった複合型
スタジアムづ
くり

- 約300エーカーの複合開発「Hollywood Park」の中核にSoFiスタジアムを配置し、約6,000席の劇場、商業・オフィス、住宅、ホテル、公園、人工湖等を歩行者空間で一体化。
- スタジアムと劇場だけで年間250件超のイベントを開催するなど、試合日以外も居住・就業・買物・交流が生まれる、街区一体型のスポーツ・エンターテインメント拠点を形成している。
- スタジアム、興行・イベント、商業・業務・居住機能等を一体的に展開することで、エリア全体として継続的に収益を確保し、民設民営による施設運営を支える事業構造を構築している。